

令和8年度(2026年度)水道事業会計予算について

水道事業は、お客様からいただく水道料金を主な収入源とする独立採算制によって運営されています。事業の運営にあたっては、**公共の福祉を増進するとともに、常に企業の経済性を発揮することが求められています。**

越谷・松伏水道企業団では、令和8年度から10年間を計画期間とする「水道事業マスタープラン2026」と中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を新たに策定しました。この新たな計画に掲げた目標の達成を目指すべく、令和8年度(2026年度)における予算を編成しました。

基本理念である“世代(とき)を越え 命の水を送り続ける こしまつ水道”を念頭に、『強靱』、『安全』、『持続』の三つの基本方針で掲げる施策の実現に向けて、事業の運営に取り組んでまいります。

業務の予定量

	令和8年度	令和7年度	増減
給水戸数	174,400戸	172,800戸	+1,600戸
1日平均配水量	100,548 m ³	101,096 m ³	▲548 m ³
年間総配水量	36,700,000 m ³	36,900,000 m ³	▲200,000 m ³

予算の状況

収益的収支：お客様に水道水をお届けするための財源と費用 (単位：千円、税込)

	令和8年度	令和7年度	増減
水道料金	6,580,000	6,600,100	▲20,100
長期前受金戻入	799,000	800,550	▲1,550
その他	396,000	374,350	+21,650
収入合計 A	7,775,000	7,775,000	±0
埼玉県営水道から原水を購入する費用	2,680,000	2,230,000	+450,000
お客様に水をお届けするための費用	2,209,200	2,169,200	+40,000
減価償却費	2,500,600	2,473,000	+27,600
支払利息	143,100	126,600	+16,500
その他	221,100	224,200	▲3,100
支出合計 B	7,754,000	7,223,000	+531,000
収支差額 (A-B)	21,000	552,000	▲531,000

【収入】

給水人口や水需要の動向などを勘案し、年間計画配水量は対前年度比20万m³減の3,670万m³を見込み、水道料金は対前年度比2,010万円減の65億8,000万円を計上しました。

「長期前受金戻入」は対前年度比155万円減の7億9,900万円となり、「その他」の収益を合わせた収入全体の合計金額は、対前年度比同額の77億7,500万円となっています。

【支出】

「埼玉県営水道から原水を購入する費用」は、令和8年4月1日から単価が引き上げられることに伴い、対前年度比4億5,000万円増の26億8,000万円を計上しました。

「お客様に水をお届けするための費用」は、各施設の維持経費や水道料金の収納などにかかるもので、対前年度比4,000万円増の22億920万円を計上しました。

「減価償却費」は配水管などの償却費用で、対前年度比2,760万円増の25億60万円を計上しました。

「支払利息」は国などからの借入金の利息で、対前年度比1,650万円増の1億4,310万円を計上しました。

「その他」の支出を含む支出全体の合計金額は、対前年度比5億3,100万円増の77億5,400万円となっています。

資本的収支：水道施設を整備するための財源と費用

(単位：千円、税込)

	令和8年度	令和7年度	増減
水道施設を更新・改良するための借入金	1,404,000	955,000	+449,000
加入者分担金	320,000	280,000	+40,000
補助金	135,000	—	+135,000
工事負担金	186,000	163,000	+23,000
有価証券満期償還金	400,000	101,000	+299,000
収入合計 A	2,445,000	1,499,000	+946,000
水道施設を建設・改良するための費用	4,518,000	3,612,900	+905,100
借入金の返済等	960,000	999,100	▲39,100
投資有価証券の購入	200,000	206,000	▲6,000
支出合計 B	5,678,000	4,818,000	+860,000
収支差額 (A-B)	▲3,233,000	▲3,319,000	▲86,000

※収支で不足する32億3,300万円は過年度損益勘定留保資金などで補てんします。「損益勘定留保資金」とは減価償却費などによって内部に留保されるもので、資本的収支不足額の補てん財源となります。

【収入】

「水道施設を更新・改良するための借入金」は、築比地浄水場系基幹管路更新工事や築比地浄水場ろ過池改修工事等に伴う財源として企業債を借り入れるもので、対前年度比4億4,900万円増の14億400万円を計上しました。

「加入者分担金」は、対前年度比4,000万円増の3億2,000円を計上しました。

「補助金」は、築比地浄水場及び西部配水場の耐震補強にかかる詳細設計業務委託並びに築比地浄水場系基幹管路更新工事に伴う財源として1億3,500万円を計上しました。

「工事負担金」は配水管の布設等に係る構成市町等からの負担金であり、対前年度比2,300万円増の1億8,600万円を計上しました。

「有価証券満期償還金」は、満期を迎えた有価証券の償還金で、対前年度比2億9,900万円増の4億円を計上しました。

収入の合計金額は、対前年度比9億4,600万円増の24億4,500万円となっています。

【支出】

「水道施設を建設・改良するための費用」は、築比地浄水場系基幹管路更新工事、築比地浄水場ろ過池改修工事、配水管布設替工事などで、対前年度比9億510万円増の45億1,800万円を計上しました。

「借入金の返済等」は国などからの借入金に係る元金の償還で、対前年度比3,910万円減の9億6,000万円を計上しました。

「投資有価証券の購入」は余剰資金を有価証券の購入に活用し、その運用益による収入確保を図るもので、対前年度比600万円減の2億円を計上しました。

支出の合計金額は、対前年度比8億6,000万円増の56億7,800万円となっています。